



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

BENTLEY の名車 1929 年製 TEAM BLOWER が 12 台限定の「コンティニュエーションシリーズ」として復活

- **Bentley の最高傑作が復活、戦前レースカーのコンティニュエーションシリーズは世界初**
- **Mulliner のスペシャリストがリバースエンジニアリングを駆使し、ティム・バーキン卿の名車 4½リッター Team Blower を復刻**
- **12 台の新 Blower は当時の Team Blower が参戦したレースへのオマージュを込め、一台一台オリジナルを忠実に再現**
- **先頃再現された 1939 年製 Corniche でレストア技術の高さは折り紙付き**
- **Blower にインスパイアされ 100 台限定生産された Continental GT Number 9 Edition はすでに完売**
- **「コンティニュエーションシリーズ」はサロン・プリヴェ・コンクール・デレガンスにて正式発表**

(2019 年 9 月 8 日、クルー) 数々の歴史的な名車を生み出してきた Bentley の中でも屈指の 1 台、1929 年にティム・バーキン卿の依頼によって製造されたスーパーチャージャー付き 4½リッター Blower が 12 台限定で蘇ります。この復刻モデルは、Bentley のビスポークとコーチワークを担う部門、Mulliner のスペシャリストらによって一台一台ハンドクラフトされます。戦前のレーシングカーを忠実に再現したモデルが、「継続」の意を込めた「コンティニュエーションシリーズ」として登場するのはこれが世界初となります。

1920 年代後半、バーキン卿のレースチームのために製造されたオリジナルの Team Blower は 4 台のみでした。4 台ともヨーロッパ各地のサーキットで活躍しましたが、最も名を馳せたのはバーキン卿自身がステアリングを握った 2 号車、登録番号 UU 5872 でしょう。この 2 号車は 1930 年のル・マンに参戦し、Bentley ワークスチームの Speed Six 優勝の立役者となりました。

Wayne Bruce

Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer

Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd

Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

今回、この 1929 年製 Team Blower をベースに、何世代も受け継がれてきた職人技と最新デジタル技術を組み合わせ、オリジナルの Team Blower である 4 台が参戦したレースへのオマージュを込め、12 台が忠実に復刻されます。

Bentley Blower コンティニューエーションシリーズは本日、サロン・プリヴェ・コンクール・デレガンスにて Bentley のエイドリアン・ホールマーク会長兼 CEO によって発表されました。「Bentley が 100 周年を迎えた今年、過去を忠実になぞりつつ、最新鋭のデジタル技術を用い、私どもは非常に素晴らしいものを作り上げようとしています。4 台の Team Blower は世界で最も価値ある Bentley であり、貴重なオリジナルを傷つけることなく、実際に運転できて、楽しめて、大切にできる復刻モデルを望む声にお応え致します」

「12 台の新しい Blower は、当社の伝統へのオマージュであるだけでなく、Mulliner の卓越した職人技の結晶でもあります。当社にとっては新たな挑戦となりますが、先頃 1939 年製 Corniche の復元に成功したことを足掛かりとし、さらに一歩進んで何か特別なものを製作したいという思いが私どもにはありました。まもなく、12 人の幸運なお客様に Bentley の歴史的モデルをお届けできることを喜ばしく思います」

まずは、Bentley 所有の Team Blower、シャシー番号 HB 3403 を分解し、各パーツを一覧にまとめ、細心の注意を払って 3D スキャナーで測定し、完璧なデジタルモデルを作成します。次に、オリジナルモデル製造時に使用された 1920 年代の金型と治具、伝統的な工具に加え、最新の製造技術を使用して 12 台分のパーツを製作します。そのパーツを Bentley の熟練工らが組み立て、新しい Blower が誕生します。12 台の復刻モデルは、メカニカルな面もルックスの面も、そしてオリジナルが持つスピリットでさえも、可能な限り当時のままを引き継ぎます。安全性に関してのみ、目立たない部分でわずかに現代のシーンに合わせた変更が加えられます。

その後、オリジナルモデルは名車担当チームによって詳細に点検され、必要に応じて丁寧にメンテナンスをされた上で、元の姿に戻されます。誕生から 90 年を迎

Wayne Bruce
Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer
Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd
Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

えるオリジナルモデルは、今も現役で公道を走行しています。今年のミッレミアを完走したほか、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードではヒルクライムを走行し、カリフォルニアの海岸近くにあるラグナセカサーキットではパレードに参加しました。2019年のペブルビーチ・コンクール・デレガンスで他の2台のTeam Blowerと共に堂々たる姿を披露したのも記憶に新しいところです。

この復刻モデルは、Bentleyの第三世代グランドツアラーにTeam Blowerへのオマージュを込めて製作したContinental GT Number 9 Editionに続き、Mullinerが手掛ける最新プロジェクトとなります。100台のNumber 9 Editionは、一台一台のダッシュボードにオリジナルモデルのパーツの一片が埋め込まれているのが特徴で、発表直後に完売となりました。

オリジナルのTeam Blowerの復刻版となるコンティニューエーションシリーズの各車には、4気筒16バルブエンジン、アルミニウム製クランクケース、鋳鉄製シリンダーライナー、取り外し不可能な鋳鉄製シリンダーヘッドが装備されます。スーパーチャージャーは、アムハースト・ヴィリヤース製ルーツ式 Mk IV 型スーパーチャージャーの精巧なレプリカとなり、このスーパーチャージャーのおかげで4398ccエンジンの出力が向上し、4200rpmで240bhpを発生します。車体構造には、プレススチールフレームと半楕円形のリーフスプリング式サスペンション、そしてBentley & Draper 製ダンパーのコピーが採用されます。さらに、Bentley-Perrot 製の40cmのメカニカルドラムブレーキ、ウォーム&セクターステアリングを再現し、シャシーが完成します。

Mullinerの緻密な作業により、12台のコンティニューエーションシリーズが完成するのは約2年後の予定です。価格は受注開始時に決定致します。

名車 Team Blower

スーパーチャージャー付き4½リッターBlowerは、戦前のBentleyの中で一際鮮烈な印象を残しました。残念ながら、耐久レースで優勝したことは一度もありませんでしたが、Blowerは紛れもなく当時最速のレースカーであり、007シリーズの作者

Wayne Bruce

Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer

Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd

Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

であるイアン・フレミングも Blower に魅了された一人でした。フレミングの小説では、主人公のジェームズ・ボンドが乗るボンドカーに Blower が登場し、イギリスのライバルメーカーのスポーツカーはボンドが所属する秘密情報部 MI6 の「社用車」という設定になっています。

Blower は、当時活躍したレーシングドライバーでありイベントレーボーイでもあったティム・バーキン卿のスピードへのあくなき追求心から誕生しました。W.O. ベントレーは排気量を 3 リッターから 4½リッター、6½リッターへと上げることでスピードアップを図りましたが、バーキン卿が目にしたのはイギリスのエンジニアであったアムハースト・ヴィリヤースの設計によるルーツ式スーパーチャージャーでした。このスーパーチャージャーを搭載することによって、レース用チューニングを施した 4½エンジンの出力が 130 bhp から 240 bhp に向上したのです。当時 Bentley の会長であったウルフ・バーナートはバーキン卿の要請を受け入れて生産を許可し、スーパーチャージャー付き 4½リッターが計 55 台生産され、内 5 台がレースに参戦しました。レースに参戦した内の 4 台は、裕福な女性篤志家であったドロシー・パジェの資金援助を受け、ウェリン・ガーデン・シティにあった Birkin & Co's ワークショップで「チームカー」として製造されたものでした。Bentley が所有している UU 5872 は、この 4 台の内の 2 号車です。

UU 5872 は 1930 年のアイリッシュグランプリでレースデビューを果たし、その時のドライバーはバーナード・ルービンでした。同レースにバーキン卿は 1 号車 UU 5871 で参戦しました。どちらのマシンにもイギリスのコーチビルダー Harrisons 製のフレキシブルな 4 ドアボディが架装されていました。結果はルービンが 8 位、バーキン卿が 3 位でした。同年 8 月、ルービンは UU 5872 でアルスターTT レースにも参戦しましたが、マシンが横転。幸い、彼自身は無傷で脱出しました。ルービンがクラッシュさせた UU 5872 は修復され、1930 年 5 月のブルックランズ・ダブル・トゥエルブ・レースに出場するため、新たに 9 フィート 9 インチのシャーシーと Vanden Plas 製ボディが取り付けられました。同レースではティム・バーキン

Wayne Bruce

Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer

Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd

Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

卿とジーン・シャサーニュがステアリングを握りましたが、シャシーフレームが破断し、リタイヤとなりました。

1930年のル・マン 24 時間レースでは、メルセデス・ベンツがルドルフ・カラツィオラとクリスチャン・ヴェルナーをドライバーに擁し、スーパーチャージャー付き 7 リッターの SSK で参戦。前年の覇者である Bentley Motors は、ワークスチームが 3 台の Speed Six でこれを迎え撃ちました。バーキン卿のチームからも 3 台の Blower が出場し、バーキン卿自身が 2 号車のドライバーを務めました。

レースは序盤から大混戦となりました。画家ブライアン・ド・グリノーの絵には、ミュルザンヌストレートを疾走するバーキン卿の UU 5872 がタイヤ 2 本を草の上にはみ出させ、すり減ったリアタイヤで、カラツィオラのメルセデス SSK を追い抜く様子が描かれています。バーキン卿はピットインするまでカラツィオラに先を譲ることはありませんでした。

このレースで Bentley は「ウサギとカメ」の戦略でライバルを出し抜いたとも言われています。つまり、バーキン卿がカラツィオラを限界まで追い詰め、メルセデスをリタイヤさせたという訳です。レース後に語られたこうした逸話の真偽はともかく、カラツィオラのメルセデスは事実、エンジンが水漏れを起こし、リタイヤを余儀なくされました。結局、チェッカーフラッグを受けたのは、ウルフ・バーナートとグレン・キドストンが駆った Speed Six でした。

UU5872 最後のレースとなったのは、1930 年 10 月のブルックランズ 500 ハンディキャップレースでした。ドクター・ダッドリー・ベンジャフィールドとエディ・ホールが平均時速 112.12 マイルを記録し、ハンディキャップ適用で 2 位に入りました。1931 年 5 月、UU 5872 がバーキンのチームで戦ってきた他の Blower と共に売りに出されるという広告が MotorSport 誌に掲載されました。どれも時速 125 マイルという走行性能を保証されたレースカーでした。

2 号車は 1960 年代に一度レストアされ、現在もほぼオリジナルの状態です。2000 年以降は Bentley Motors の所有となり、外観に若干のメンテナ

Wayne Bruce

Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer

Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd

Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms



By appointment
to HM The Queen
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



By appointment
to HRH The Prince of Wales
motor car manufacturers
Bentley Motors Limited
Crewe Cheshire



BENTLEY

報道発表資料

ンスが施されていますが、パーキン卿がステアリングを握った当時の姿とほとんど変わりません。2号車は現代もミツレミアに5回参戦しているほか、ル・マンまでの行程を何度か走行しており、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードやペブル・ビーチ・コンクール・デレガンスでもその走りを披露しています。

Bentley のビスポークとコーチビルディングを担う Mulliner

Mulliner とコーチビルディングのつながりは 1760 年に遡ります。きっかけは、フランス・マリナーが郵政当局から馬車の製造を依頼されたことでした。1870 年には彼の孫であるロバートが Mulliner London Limited を設立し、当時最先端の機械駆動式馬車を手掛けたことで事業が大きく成長しました。1900 年代初頭にはロンドンの高級地区メイフェアにショールームが開設されました。

1923 年、ロバートの息子である H.J.マリナーが初めて Bentley のボディを架装し、3/4リッターの Bentley がロンドンのオリンピックショーに出展されました。Mulliner はその後も数十年に渡り、数多くの Bentley のボディ架装を手掛け、1959 年に正式に Bentley の傘下に入りました。

今日、Mulliner は Bentley のクルー本社に拠点を置き、そのワークショップでは熟練のデザイナーやエンジニアが Bentley のお客様からのご要望にお応えしています。最近の偉業は何と言っても 1939 年製 Bentley Corniche を見事に復元したことでしょう。かつて Bentley のコンセプトカーとして製作され、永久に失われてしまったと考えられていた名車が、Mulliner の類い希な職人技で見事に蘇りました。

Wayne Bruce

Director of Communications
wayne.bruce@bentley.co.uk
+44-7780-004537

Mike Sayer

Corporate Communications
Manager
mike.sayer@bentley.co.uk
+44-7507-846782

Bentley Motors Ltd

Pyms Lane
Crewe
CW1 3PL

www.bentleymedia.com
communications@bentley.co.uk
@BentleyComms

- 以上 -

編集者の皆様へ

Bentley Motors は、世界トップの人気を誇る超高級車ブランドです。本社は英国クルーにあり、Continental、Flying Spur、Bentayga、Mulsanne という 4 つのラインアップの設計から R&D、エンジニアリング、製造までを一貫して本社で管理しています。何世代も受け継がれてきた技を駆使するクラフトマンシップ、エンジニアリングの専門知識、そして最先端のテクノロジーを融合させることは、Bentley のような英国高級自動車メーカーだからこそなせる技です。また、付加価値の高い英国製造業の代表例とも言えます。クルー本社では、約 4,000 人の従業員が勤務しています。